

JAだより

2015 8

No.258

なかぬま



小麦収穫作業開始

— 1区 仲野農園 ほ場 —



7月22日、長沼町園芸組合連合会（服部会長、川浦副会長、荒井副会長）は長沼町からの活動助成に対するお礼と挨拶をかねて長沼町役場を訪問し、トマト・ブロッコリー・アスパラ・イチゴを戸川町長へ贈呈いたしました。新鮮な野菜に大変喜んでいただき、町内の保育園で使用されました。



7月10日、中央検査場前で青年部とJA職員とのバーベキュー交流会が行われました。当曰は好天に恵まれ、青年部とJA職員ら約90名が参加しました。交流会では、アームレスリング大会なども行われるなど青年部の部員間の親睦はもちろん、部員が普段接することが少ないJA職員とも交流を深めることができました。



農協では7月、これから社会を担っていく子供たちに、日本の農業、それを支える担い手やJAについて理解を深めてもらうために、町内の各小学校の五年生の児童と教諭ら約88名に、食農教育の教材を贈りました。贈った教材は、（社）家の光協会発行の雑誌「ちやぐりん」（別冊付録「夏休みわくわく探検！みんなの暮らしと農業・JA」）でお米・野菜などを始めとする、日本の農業全般や地域で幅広い分野で活動するJAの仕事や役割を網羅した内容となっています。

教材を受け取った児童らは夏の食材レシピなど、家族で作って見たいなどと大変喜んで受け取っていました。



長沼町へ農産物を寄贈

青年部とJA職員との バーベキュー交流会開催

小学生に「ちやぐりん」 を贈る

第18回女性部体育大会開催

7月4日、青年部協力のもと、第18回女性部体育大会が長沼中央小学校グラウンドにて開催されました。大会には約180名が参加して、2チーム対抗で競技を行いました。本年度は新競技の募集を行い、8地区から応募があり3種目を採用しました。

各競技では、息の合った好プレー・ハブニングプレーなどがあり、日頃の活動を通じて築き上げてきたチームワーク力が発揮され、声援が選手に届くとより一層白熱し、最後まで手に汗握る展開となりました。また、ご来賓の方や、青年部にも多数競技に参加していました。

女性部事業のなかで、部員が一堂に会す機会ということもあります。大会を通じ地域を越えて親睦を深め、笑顔溢れるなか農繁期のひとときを楽しく有意義に過ごしました。なお、本年度は、同点優勝となりました。

日時 11月12日（木）10時～14時頃
場所 ながぬま温泉（昼食付・アトラクション有）
参加費 無料
申込、問合せ先 JAながぬま営農企画課
事務局 田中（88-2232）
参加申込締め切り 10月20日（火）



*フレッシュユニミズとは、JAながぬま女性部の部会の一つで20～40代が主なメンバーです。年に数回、旅行や料理・リフレッシュ講習会などを開催しています。また、女性部の行事などにも参加し、農作業の間のリフレッシュできる場所として活動をしています。

JAながぬま女性部
「フレッシュユニミズの会交流会開催！」
交流会参加者を募集します。

農業後継者に嫁いだ方、実家の農業後継者になつた方、また、農協女性部を休部中の地区的フレミズさん、ぜひ交流会に参加して新しい友達・仲間作りをしてみませんか？

ながぬまクリーンライス生産協議会水稻現地研修会、開催される

7月7日、春の育苗講習会に続き、町内2カ所で生産者が参加して、水稻現地研修会が開催されました。普及センターの大山普及員を講師に迎え、27年水稻生育状況、ほ場内の幼穂長から幼穂形成期を確認し、今後の水管理について研修を行いました。6月下旬の天候が悪く、7月1日現在の生育遅速日数は1日遅れで、不穏による減収を防ぐためにも今後の管理については重要なポイントとなりそうです。



28区直播栽培ほ場では、水稻直播栽培について説明を受け、普及センター橋本係長より麦・大豆の今後の管理についての講習もあり、生産者からは熱心な質問が出されていました。31区では、今後の管理の説明のほか、「ななつぼし」「そらゆき」の疎植栽培ほ場の視察も行われ、有意義な講習会となりました。

南瓜出荷前のヘプタクロル残留農薬自主検査実施について

農協では、北海道の一部の地域から南瓜の農薬成分ヘプタクロルの残留農薬基準値超え（国の基準0.03ppm）が検出され、販売禁止や回収命令等が発生したことを踏まえ、平成20年より出荷前に南瓜の自主検査実施について周知をしております。

残留基準値超えの原因としては、過去に使用したほ場の土壌中にヘプタクロルが残しておらず、南瓜の生育段階で栄養分同様に蓄積されてヘプタクロルの濃度が残留基準値に影響しています。

未検査の状態で市場や流通業者に出荷し、残留基準値超えが検出されると産地では生産・出荷の自粛などの緊急対応を余儀なくされ、地域のイメージダウンや経済的な損失も招きます。

また、回収費用なども生産者が背負うことになりますので、必ず出荷前に自主検査を行うようお知らせいたします。

検査単位…………ほ場ごとのサンプル南瓜で検査を行います。
自主検査費用…………1点 約10,000円
助成金…………農協より半額助成（生産者負担 1点 約5,000円）
 ※農協経由しない南瓜出荷でも自主検査費用は半額助成します。
その他…………検査結果は約7～10日間必要となります。
 ※結果が基準値以内を確認するまで出荷は出来ません。

なお、自主検査のサンプル持込時に**南瓜の生産履歴**を提出願います。

詳しい内容については
右記をご確認ください

園芸蔬菜課・野菜集出荷場
TEL 88-0721

米トレーサビリティ制度が始まっています



米穀（玄米、精米、くず米等）を出荷・販売される生産者の方は、この法律の対象になります

「米トレーサビリティ法」をご存じですか！？

米穀や米加工品に問題が発生した際に、速やかに流通ルートを特定するため、米穀や米飯・米加工食品等を取扱う事業者間の取引記録の作成・保存が義務付けられています。

また、消費者が商品選択の際の参考とするため、米穀の産地情報の伝達が義務付けられています。

私たちも法律を遵守することで、「安心・安全」なお米を未来へ繋げていきましょう。

詳細は、農林水産省HPまたは、北海道農政事務所消費・安全部業務課（TEL 011-863-6031）

①業者間の取引等の記録を作成・保存【例：伝票に、品名、産地、数量、取引年月日、取引先名を記載】

②米穀の産地情報を伝達【例：伝票類に産地（北海道産、○○町産など）を記載して、事業者の方に伝達】

＜参考例＞注：住所は産地とならないので御注意下さい！



本所事務所



生産資材事務所



消防訓練



火災報知器での非常ベルを鳴らし、火元の発生に伴う通報・消火活動、事務所・店舗内での難訓練と消火訓練を行いました。

6月25日、消防法施行令により年2回の消防訓練実施が義務付けられ、本所事務所・生産資材事務所・Aコープ北長沼店も含め、通報・避難訓練と消火訓練を行いました。

火災報知器での非常ベルを鳴らし、火元の発生に伴う通報・消火活動、事務所・店舗内での難訓練と消火訓練を行いました。また、消火訓練では株式会社ユニ商会の指導により水消火器を使用し消火作業を行い、万が一の火災発生時に對処出来るよう備えました。避難誘導を職員・従業員が参加されました。

大学・短大・専門学校生大歓迎 JAグループ職員養成校 JAカレッジ

- 60名・1カ年、全寮制・満24歳未満(27年4月1日現在)
- 大学、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:12月8日・9日 •願書受付:9月8日~11月10日 •学校見学もできます

お問い合わせ
資料請求

一般財団法人
北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1
(JAカレッジ) ☎ 0120-918-417
JAカレッジ検索

J A 住宅ローン

金利引下げキャンペーン開始!!

J A 住宅ローンの金利引下げキャンペーン（J A 住宅ローンとくとくプラン）を開始しました。

期間は 11月30日まで

各種住宅ローン・リフォームローンのキャンペーン金利が選択いただけます。

▶ 固定変動金利選択型（はじめに大きな引下げ型）

3年固定特約金利 0.8%、5年固定特約金利 1.1%、10年固定特約金利 1.2%で、固定特約期間終了後は、再度固定特約金利か変動金利にするか選択でき、その際の金利は店頭金利より固定金利で 1.0%、変動金利では 0.5%引下げされます。

▶ 正組合員の皆様が後継者と同居のために二世帯住宅などを新築又は増改築する際に住宅ローンやリフォームローンを借入する場合は、キャンペーン金利からさらに 0.1%引き下げいたします。

▶ ガン（悪性新生物）・急性心筋梗塞・脳卒中により所定の状態と診断された場合に 対象住宅ローンが全額共済金で返済される「J A 3大疾病保障付住宅ローン（各住宅ローン商品の金利に年 0.2%上乗せ）」や、上記 3大疾病に加えて高血圧症・糖尿病・慢性腎不全・肝硬変・慢性膀胱炎・ウイルス肝炎により所定の状態と診断された場合に 対象の住宅ローンが全額共済金で返済される「J A 9大疾病保障付住宅ローン（同じく年 0.3%上乗せ）」もあります。

▶ リフォームローン

キャンペーン金利 变動金利 1.8% 固定金利 2.0%で、担保不要です。



○手数料は無料で、キャンペーン中にお借入れいただいた方の団体信用生命共済掛金は農協が負担します。

J A 住宅ローン主要商品の概要

	J A 住宅ローン	100%応援型	借換応援型	J A リフォームローン
特徴	頭金に余裕のある方、大規模なリフォームをお考えの方におすすめです。	頭金不足のお悩みを解消！費用を含めた所要資金の 100% までお借入れ可能です。		担保が不要で、小規模なリフォームにおすすめです。所要資金の 100% までお借入れ可能です。
使いみち	住宅の新築・購入、増改築	現在利用中の住宅ローンのお借換え		住宅の増改築・改修・補修・付帯施設用資金
ご利用いただける方		20歳以上 66歳未満で、最終償還時年齢が 80歳未満の方		20歳以上 66歳未満で、最終償還時年齢が 76歳未満の方
年収	前年の税込年収が 200万円以上	前年の税込年収が 350万円以上		前年の税込年収が 200万円以上
その他	・勤続（営業）年数が3年以上ある方 ・信用状況に不安がない方 ・団体信用生命共済に入れる方 ・（借換応援型の場合）借入れから3年以上経過し延滞のない方			
融資限度額		5,000万円以内		500万円以内
期間	35年以内	32年以内 (借換対象ローンの残存期間内)		10年6ヶ月以内
担保	融資対象物件及びその敷地に第1順位の抵当権を設定させていただきます。担保物件については、火災共済（保険）に加入していただき、第1順位の質権を設定させていただきます。			不要
保証人	原則として必要ありません（北海道農業信用基金協会の保証を受けていただきます）			
保証料	保証料のお支払いは一括前払い方式です。お借入時に一括してお客様から保証機関にお支払いいただきます。 ※保証料も所要資金に含めることができます。			
保証料率	0.20%	0.23%	0.20%	0.40%
返済方法	元利均等償還 ・毎月返済方式・特定月増額返済方式・年2回返済方式（農業者のみ）			

お問い合わせ・お申し込みは、本所管理部金融課融資係までお願いいたします。TEL 88-2224

平成28年度 J A ながぬま職員採用募集要領

1. 応募資格	平成 28 年 3 月、新規高卒見込者又は J A カレッジ卒業見込者で、身体、精神共に健康であること。
2. 採用募集人員	2名以内
3. 募集の受付	平成 27 年 9 月 7 日(月)～9 月 18 日(金)まで郵送・持参により応募書類必着のこと。
4. 提出書類	全国高等学校統一応募書類（履歴書・調査書）
5. 選考方法	① 筆記試験 ② 面接
6. 筆記試験日及び場所	① 試験実施日／平成 27 年 9 月 28 日(月) 場所／ながぬま農業協同組合 会議室 ② 試験は、基礎能力検査・性格検査・作文とする。 ③ 時間、試験科目などの詳細は別途応募者に通知する。
7. 筆記試験結果報告	筆記試験結果は、平成 27 年 10 月上旬までに本人へ通知する。
8. 採用者の身分並びに待遇	① 身 分／3ヶ月の試用期間後、採用の決定 ② 基本給／当 J A の規定による ③ 諸手当／賞与 年 2 回・通勤手当・住宅手当・寒冷地手当 他 ④ その他／雇用保険・労災保険・健康保険・厚生年金加入・退職給与制度あり
9. お問い合わせ	管理部総務課 (TEL 0123-88-2223) へ連絡願います。

不要農機具・タイヤ等を回収いたします！

回収日時～平成 27 年 8 月 25 日(火) (1 日のみ) 午前 9 時～午後 4 時

受入場所～旧南事業所（東 4 線南 4 番地）

無料回収農機具（主催：長沼町農機具振興会）

トラクター、コンバイン、田植機、作業機、鉄材、アルミ材、バッテリー（木製農機具は回収できません）

有料回収品（主催：J A ながぬま）

タイヤ

■タイヤ回収料金（消費税別途）

	タイヤ		タイヤにホイル、汚れ、土砂、粉塵等あり	
	夏タイヤ スタッドレス	スパイク	夏タイヤ スタッドレス	スパイク
乗用車	160 円	300 円	300 円	450 円
2t～4t・4WD	500 円	750 円	900 円	1,050 円
11t	900 円	1,200 円	1,500 円	1,800 円

※ 上記以外のチューブ、フラップは 100 円 /1 本
また、大型のタイヤは別途料金となります。
およそ 5,000 ～ 15,000 円 /1 本

回収に当っては…

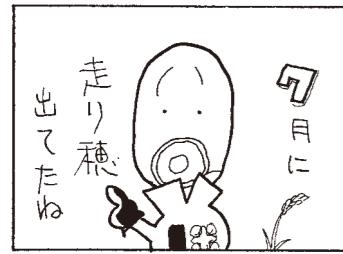
- 各組合員が各自で積込み搬入することを基本とします。
- 搬入される方は別途申込みが必要となります。（行政区の事業推進員に取りまとめをお願いしています）
 - ・貨物自動車がなく引取りを希望する場合は大型農機具のみで申込みが必要です。
 - ・ユニック車での引取りは 25 日のみで行い、トラクター、自脱コンバイン、乾燥機、大型作業機、小型作業機、田植機を無料で引取りいたします。ユニック車が横付けできるよう大型農機具は庭先まで移動をお願いします。
 - ・ユニック車の使用料金は無料です。
- ガソリン、バッテリー、オイル等は完全に除去してから搬入願います。
- ガスピンベは回収できません。
- 搬入時には、「産廃運搬車」と表示をお願いいたします。

お問い合わせ

主催は農機具とタイヤで各々異なりますが、いずれもご不明点等については下記までご連絡ください。

本所資料センター TEL88-2307

JAながぬま



自主検査士の紹介

JAの農産物検査については、自主検査士を配置し指導にあたります。

小麦・米・大豆の適期刈取指導及び麦バラ施設、米の館での自主検査において指導・検査してまいりますのでよろしくお願いいたします。



後列左より

温井 元氏(岩見沢市)
岩本 静夫(札幌市)
千葉 正夫(岩見沢市)

前列左より

関本 輝雄(札幌市)
近藤 泉(長沼町)
西村 榮二(江別市)

お願い

ジャガイモシストセンチュウの侵入・まん延防止にご協力を!!

ジャガイモシストセンチュウ発生面積は、年々拡大し、北海道内の52市町村で発生が確認されています。

本年、長沼町で初めてジャガイモシストセンチュウの発生が確認され、さらなる侵入・まん延防止対策が急がれます。



「ジャガイモシストセンチュウとは?」

ジャガイモシストセンチュウは、土の中に存在する害虫で、直径0.6mmほどのシスト（卵が入った殻）の中に、200～500個の卵が入っています。根に寄生して養分を吸収するため生育不良をもたらし収穫量の減少を招き、生産者に大きな打撃があります。また、乾燥や湿潤、温度変化に強く、シストのままで20年以上生き続けることがあるため根絶させることが極めて困難な害虫でもあります。

「発生すると?」

○種馬鈴しょ検疫規定により発生地域での種いも栽培が規制されます。

(食用馬鈴しょで発生・確認されても種馬鈴しょは作付出来なくなります)

○感受性品種（メークイン・男爵など）は高密度で減収がある。

○輪作体系が崩れ他作物へも影響を及ぼす。

○馬鈴しょ産地（種いも・食用共に）としての信用低下などの影響があります。

「侵入・まん延を防ぐには?」

- 1) 種子用として適正栽培された正規流通の種いもを使用する。
(正規流通の種いもには種馬鈴しょ検査合格証表が添付されています) 家庭菜園でも同様。
- 2) ほ場を移動するときは、靴や車両を洗浄する。
- 3) ほ場で使用したトラクター・農機具・コンテナなどはこまめに洗浄する。
- 4) 苗や苗木、球根などは生産地がわかり信用できるものを使用する。
- 5) 肥料や土壤改良資材などは、製造法等に十分注意し汚染土壤が町内に入らないようにする。
- 6) 無断で他人の農地に立ち入らない。知らない人をほ場に入れない。

馬鈴しょ以外の他の作物ほ場や農地に立てる場合も、靴の洗浄などを実施し、病害虫の侵入に注意しましょう。

長沼町ジャガイモシストセンチュウ対策協議会

7・8月は北海道の夏を満喫!

私たち、美味しいくて安全なJAながぬま・ななつぼしを標準使用し、その他農作物も適時に利用してまいります。
ホテルエミシア札幌 〒004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目 011-895-8811 (代表)

理事会報告－第8回－

《平成27年7月21日開催》

[議案]

- 第1号 農業用ハウス導入助成事業及び園芸作物ブランド化支援事業について
第2号 平成28年度新規採用職員採用募集要領について
第3号 JA北海道大会議案に係る組織討議について
第4号 病害虫まん延・拡大防止対策の取り進めについて

[報告事項]

- 会議・行事等の報告について
- 農作物生育状況等について
- 経営所得安定対策の申請状況について
- 農機具リース対応事業(アグリシードリース)について
- 平成27年産野菜・花き共選等の状況について
- 子会社第1四半期の状況について
- その他

以上、すべての議案について審議し

原案通り承認されました。

今月の組合員数

組合員 1,622名
正組合員(880名)
准組合員(742名)
正組合員戸数 788戸

農協の動き 6/20～7/21

6月

- 20日 グリーンパートナー交流会 於 ノボテル札幌
22日 (公社)岩見沢地方法人会長沼農業地区会交流会 於 ながぬま温泉
22・23日 JA全国大会議案審議専門委員会 於 東京都
24日 常勤監事 無通告監査 於 農協
26日 事業推進員会議 於 農協
26日 南々空知地区米生産流通協議会減農薬部会役員会 於 JAなんぼろ
26日 粉バラ施設運営協議会 於 農協
29日 第2期種馬鈴しょ防疫検査 於 種いもほ場
29～7月3日 コンバイン、火災共済推進 於 組合員宅
29～7月3日 早取肥料予約推進 於 各地区
30日 空知管内JA常務理事とホクレン岩見沢支所との意見交換会 於 空知農業会館
30日 長沼町農業経営改善計画審査会 於 長沼町

7月

- 2日 長沼神社大祓・長沼町水まつり 於 長沼神社
2日 麦バラ施設運営協議会 於 農協
4日 女性部体育大会 於 中小グランド
6・7日 年金友の会役員研修 於 登別市
7～10日 作付現地確認 於 町内
9日 JA北海道大会組織討議説明会 於 空知農業会館
9日 空知管内農協組合長会議 於 空知農業会館
9日 メンタルヘルス研修会 於 農協
13～16日 (一社)北海道農協経営審査協会 内部審査 於 農協
13日 常勤監事 無通告監査 於 北長沼支所
13日 第3期種馬鈴しょ防疫検査 於 種いもほ場
15日 不要農薬回収 於 資材センター
15・16日 長沼町農業団体連絡協議会総会 於 登別温泉
16日 南空知農協農家再建対策協議会役員会 於 JAなんぼろ
17日 常勤監事 無通告監査 於 舞鶴事業所
17日 担い手支援推進委員会 於 農協
21日 理事会 於 農協

最新の営農技術から農畜産物の市場見通まで

購読のお申し込みはJAへ



http://www.nagashimbu-shimbun.jp